

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2021年度)

| | | | | | | | | | | |
|----------------|---|--------------------------------|-----------------|------|-----------------|----|---------|-------|---------|-----|
| 専門分野区分 | ヒューマンスキル | 科目名 | ゼミナール I | | | | | 科目コード | DL001A1 | |
| 配当期 | 通年 | 授業実施形態 | 通常 | | | | | 単位数 | 2 単位 | |
| 担当教員名 | 野田 知哉 | 履修グループ | 1L(DG/DM/DW/MA) | | | | | 授業方法 | 講義 | |
| 実務経験の内容 | グラフィックデザイナーとして広告デザイン業界のデザイン制作会社にて10年間、その後フリーランスとして15年の25年間、実務に携わった経験を活かして、グラフィックデザイン業界の知識、企画立案に必要なマーケティングの理論、色彩計画、レイアウトについて実践的に講義する。 | | | | | | | | | |
| 学習一般目標 | ゼミナールは、卒業までに学生自身の①学習スタイルを確立、②自己管理能力を高める、③日本語表現力を高める、④専門知識・技術習得における自己管理能力を高めることが目的となる。これによって、社会人としての基礎が確立されたことになる。その中でも、ゼミナール I は高校時代の振り返りを行い、スタディスキルを身につけることが目標となる。また、デザイン分野のクラスとして、目標とするデザイン業界の知識を高めることができる。美術解剖学の概要を修得することができる。 | | | | | | | | | |
| 授業の概要および学習上の助言 | 専門学校の学生生活を通じて習得すべきことが2つある。1つは生涯学習のための学び方である。もう1つは学んだ内容を卒業後社会的活動に結び付ける方法である。専門学校ではそれぞれの分野を深く学ぶための専門科目が配置されているが、全分野に共通する社会人として身につけておくべき内容を学ぶのがゼミナールである。デザイン分野のクラスとしてデザイン業界に興味を持ち、自分でも積極的に調べるようにしておくこと。 | | | | | | | | | |
| 教科書および参考書 | Career Design Note I、授業内で適宜レジュメ・資料の配布 | | | | | | | | | |
| 履修に必要な予備知識や技能 | 特になし | | | | | | | | | |
| 使用機器 | iPad Air , Apple Pencil (第2世代) | | | | | | | | | |
| 使用ソフト | | | | | | | | | | |
| 学習到達目標 | 学部DP(番号表記) | 学生が到達すべき行動目標 | | | | | | | | |
| | 3 | 多様性を理解し他者とのコミュニケーションを図ることができる。 | | | | | | | | |
| | 4 | 自分の考えや意見を言葉で表現できる。 | | | | | | | | |
| | 4 | 自分の考えや意見を文章で表現できる。 | | | | | | | | |
| | 5 | 学習目標と日程計画を立てることができる。 | | | | | | | | |
| | 5 | 自分の目標とする社会人像を説明することができる。 | | | | | | | | |
| 達成度評価 | 評価方法 | 試験 | 小テスト | レポート | 成果発表 (口頭・実技) | 作品 | ポートフォリオ | その他 | 合計 | |
| | 学部DP | 1.知識・理解 | | | | | | | | |
| | | 2.思考・判断 | | | | | | | | |
| | | 3.態度 | | | | 20 | | | | |
| | | 4.技能・表現 | | | 20 | 20 | | | | 40 |
| | | 5.関心・意欲 | | | | | | 20 | 20 | 40 |
| | 総合評価割合 | | | | 20 | 40 | | 20 | 20 | 100 |
| 評価の要点 | | | | | | | | | | |
| 評価方法 | | 評価の実施方法と注意点 | | | | | | | | |

| | |
|-------------|--|
| 試験 | |
| 小テスト | |
| レポート | 自己分析、文書作成演習 専門職・関連職を含む就職に関する目標及び計画 |
| 成果発表(口頭・実技) | ワークシート テーマにもとづいたディスカッションと発表 グループワーク等 |
| 作品 | |
| ポートフォリオ | ポートフォリオ完成に向けた計画書 |
| その他 | 出席状況、受講態度、学校行事への参加 |

授業明細表

| 授業回数 | 学習内容 | 授業の運営方法 | 学習課題(予習・復習) |
|------|---|--------------|------------------------|
| 第1回 | 【キャンパスライフ①】 ・ゼミナールの意義説明、学校での過ごし方など／クラスメイトの事を知る／iPadの設定 | 講義／演習／【個人面談】 | 自分についての振り返りを書いてくる |
| 第2回 | 【キャンパスライフ②】 ・連絡事項／キャリアデザインノート(目標の設定)／iPadの活用 | 講義／演習／【個人面談】 | 目標の記入ができていない場合は宿題とする |
| 第3回 | 【キャンパスライフ③】 ・連絡事項／デザイン業界とポートフォリオについて／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第4回 | 【キャンパスライフ④】 ・連絡事項／検定の取得について／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第5回 | 【業界研究①】 ・連絡事項／デザイン・イラスト業界のハナシ～業界について／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第6回 | 【業界研究②】 ・連絡事項／デザイン・イラスト業界のハナシ～著作権について／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第7回 | 【キャンパスライフ⑤】 ・連絡事項／学修ポートフォリオ記入／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第8回 | 【キャンパスライフ⑥】 ・連絡事項／学校生活前期中間チェック／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第9回 | 【業界研究③】 ・連絡事項／デザイン・イラスト業界のハナシ～キャリアについて／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第10回 | 【情報デザイン基礎①】 ・連絡事項／働くことについて考える／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第11回 | 【情報デザイン基礎②】 ・連絡事項／人に伝えること／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |

| | | | |
|------|--|--------------|------------------------|
| 第12回 | 【情報デザイン基礎③】 ・連絡事項／SNSの心得(ネットワークリテラシー)／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第13回 | 【キャンパスライフ⑦】 ・連絡事項／前期授業の補習／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第14回 | 【キャンパスライフ⑧】 ・連絡事項／前期学校生活の振り返り(学修ポートフォリオ)／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第15回 | 【キャンパスライフ⑧】 ・連絡事項／夏休みの過ごし方(夏休み中の目標)／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第16回 | 【キャンパスライフ⑨】 ・連絡事項／MF2022について(過去のMFから内容を解説)／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) ・次年度就活生への連絡(キャリアガイダンス) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第17回 | 【キャンパスライフ⑩】 ・連絡事項／MF2022について(テーマの解釈)／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) ・次年度就活生への連絡(Job Image Sheet) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第18回 | 【キャンパスライフ11】 ・連絡事項／今後の行事について／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) ・次年度就活生への連絡(履歴書ブラッシュアップ) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第19回 | 【業界研究④】 ・連絡事項(今後のスケジュール、行事について)／DTP業界について／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) ・次年度就活生への連絡(就活マナー、就活スタイル) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第20回 | 【業界研究⑤】 ・連絡事項(今後のスケジュール、行事について)／Web業界について／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) ・次年度就活生への連絡(キャリアブートキャンプ準備) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第21回 | 【業界研究⑤】 ・連絡事項(今後のスケジュール、行事について)／イラスト業界について／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) ・次年度就活生への連絡(キャリアブートキャンプ準備) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第22回 | 【業界研究⑥】 ・連絡事項(今後のスケジュール、行事について)／自分の目指す職業について考える／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) ・次年度就活生への連絡(キャリアブートキャンプ準備) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第23回 | 【キャンパスライフ12】 ・連絡事項／学校生活後期中間チェック／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) ・次年度就活生への連絡(履歴書ブラッシュアップ) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第24回 | 【キャンパスライフ12】 ・連絡事項／MF2022に出展する作品の進捗と応募方法／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) ・次年度就活生への連絡(履歴書ブラッシュアップ) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第25回 | 【情報デザイン基礎④】 ・連絡事項／職種について考える／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) ・次年度就活生への連絡(模擬面接指導振り返り) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |

| | | | |
|------|--|--------------|------------------------|
| 第26回 | 【情報デザイン基礎⑤】 ・連絡事項／職種について考える／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) ・次年度就活生への連絡(模擬面接指導振り返り) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第27回 | 【キャンパスライフ13】 ・連絡事項／MF2022への出展作品の進捗チェック／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) ・次年度就活生への連絡(就職支援システム登録) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第28回 | 【キャンパスライフ14】 ・連絡事項／MF2022への出展作品の進捗チェック／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) ・次年度就活生への連絡(就職活動について) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第29回 | 【キャンパスライフ15】 ・連絡事項／1年間の学校生活の振り返り(学修ポートフォリオ)／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) ・次年度就活生への連絡(就職活動について) | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |
| 第30回 | 【キャンパスライフ15】 ・連絡事項／春休みの過ごし方／iPadの活用／デザイン制作補習(美術解剖学) ・今後の日程、MF2022作品展の日程、登校日について | 講義／演習／【個人面談】 | 授業内での課題が済んでいない場合は宿題とする |